

授 業 科 目 名	心理学		
担 当 者 名	福崎 淳典		
科 目 コ ー ド	2000001	授 業 形 態	講義
学 年	2	開 講 期	前期
単 位 数	2	履 修 方 法	選択必修 医療秘書必修
授業の概要と方法	「心理学」とは人間の心を科学的に解明する学問である。人はなぜそのような行動をしたのか、なぜそのような気持ちになったのかなど、心理学を学ぶことによって、自分や他者の気持ちを推測し、論理的あるいは客観的に理解することが可能になる。本講義では、多義にわたる心理学の分野を紹介し、社会人として必要なコミュニケーションについても学ぶ。		
授業の到達目標	①心理学の基礎知識を学び、人間の心の仕組みを知る。 ②心理学の知識を社会生活と結びつけて考える。 ③人間関係の心理を学び、簡単なコミュニケーション技術を習得する。		
授 業 計 画			
1.	心理学とは何か	心理学の考え方を体験する	
2.	発達	発達と人間関係	
3.	認知	知覚と思考のメカニズム	
4.	学習	学習と記憶の理論	
5.	教育・実験	学級理解、動機付け、心理学実験	
6.	コミュニケーション	対人関係論	
7.	パーソナリティ	パーソナリティの理解とその特性	
8.	対人関係パターン	対人関係を知る	
9.	態度と態度変化	態度や態度変化における心の仕組み	
10.	社会の動き	集合現象とマスメディア	
11.	危機対応	災害心理学	
12.	健康とストレス	ストレスへの対処法	
13.	臨床①	心の病気、心理療法、心理検査	
14.	臨床②	臨床心理学の応用、ストレスマネジメント	
15.	まとめ	大学生活に生かすための心理学	
成績評価の方法 【評価項目と割合】			
定期試験	授業内課題及びコメントシート		
70%	30%		
授業外で行うべき学習（準備学習・事後学習等）			
<ul style="list-style-type: none"> ・普段から人の話をきちんと聞くことを心掛けるようにしてください。 ・また、心理学で学んだことと自分の体験を結び付けて考えておきましょう。 ・日常の経験や体験を授業で記述してもらいます。 			
使 用 テ キ ス ト			
書籍名	著者	出版社	
・必要に応じて資料を配布する。			
参 考 書 又 は 参 考 資 料 等			
・授業中に随時紹介する。			
そ の 他（受講生への要望等）			
<ul style="list-style-type: none"> ・心理学に興味のある人はぜひ受講してみてください。 ・授業内でグループワークや課題を行います。積極的に参加してください。 ・大学生活に生かすために心理学を学びたいと思う人は、受講してください。 			
担 当 教 員 の 連 絡 先 等			
担当教員 E-mail	その他		
講義開始後に改めて連絡をします。			

授 業 科 目 名	美術		
担 当 者 名	都 留 守		
科 目 コ ー ド	2000002	授 業 形 態	講義
学 年	1	開 講 期	前期
単 位 数	2	履 修 方 法	選択必修 美容師必修
授業の概要と方法	<p>「美術作品の鑑賞」を基に、発想を膨らませ、自由に想像したことを自分の方法で表現する授業を行います。</p> <p>(授業の概要)</p> <p>主体的に学び合う「美術作品の鑑賞」を通して、学習者が発見したり関心をもったりした課題を自分の方法で表現する授業です。</p>		
授業の到達目標	<p>(目標)「美術を通して豊かな感性をもつ人間形成」を目指す</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、 作品鑑賞を通して、見つめる力・感じる力・考える力を養う。 2、 芸術家の生き様や芸術作品と出会って、見付けたことを自分の言葉で表現する力を養う。 3、 他者の意見を受け入れ、自分の見方・感じ方・考え方を高め・深め・広げる。 4、 鑑賞を通して得た感動や学びをもとに、自己表現する力を養う。 		
授 業 計 画			
1.	オリエンテーション(「美術」の目標、内容についてなど) / トリックアートを鑑賞しよう。		
2.	デュラーの「祈りの手」を鑑賞し、作品に込めた思いに触れ、鉛筆で「祈りの手」を描こう。		
3.	古賀春江「無題」を鑑賞し、その続き話を創作して、水性色鉛筆でミニ紙芝居を描こう。		
4.	ゴッホについて知り、ゴッホが「ひまわり」に込めた思い・願いを受け止め、「私のひまわり」をオイルパステルで描こう。		
5.	マティスの作品「ジャズ」を鑑賞し、コラージュの技法で、自分の好きな音楽をコラージュで表現しよう。		
6.	ドガの作品「マネとマネ夫人像」を鑑賞し、作品の切り取られた部分を想像して、パステルで表現しよう。		
7.	田中敦子の「作品」を鑑賞し、「作品」の主題を手掛かりに、丸い色紙とカラーペンで表現しよう。		
8.	白髪一雄の作品を鑑賞し、目に見えない音や動きを表現した「切利天」の表現を手掛かりに、絵の具と紙粘土で音や動きを表現しよう。		
9.	糸園和三郎の作品、「老婦と子ども」を鑑賞し、「老婦と子ども」の表現を手掛かりに、「過去・現在・未来」をモノトーンで表現しよう。		
10.	海老原喜之助の作品「靴屋」を鑑賞し、「靴屋」の表現の特徴を手掛かりに「2人の関係」をオイルパステルで表現しよう。		
11.	ピカソの描いた「90歳の自画像」を鑑賞し、オイルパステルで幼い子どものような自由な描き方で「自画像」を表現しよう。		
12.	ターナーの作品「解体されるために最後の停泊地に曳かれてゆく戦艦テメレル号」を鑑賞して、ターナーが表そうとしたテーマを手掛かりにして、水性色鉛筆で表現しよう。		
13.	浜田 知明の「ボタンB」を鑑賞し、浜田 知明が作品に込めた思いを受け止め、コンテパステルで表現しよう。		
14.	木下晋「103年の闘争3 2003」に描かれたものを感じ取ろう。		
15.	「達磨」と「だるま」について知り、わたしの「だるま」を描き、「美術」のまとめ・評価をする。		
成績評価の方法 [評価項目と割合]			
「鑑賞から生まれた作品」を評価する	毎時間「振り返りカード」の観点別自己評価をもとに評価する	毎時間「振り返りカード」の記述(感想)を評価する	「作品カード」に書かれたコメントを評価する。
50%	20%	20%	10%
授業外で行うべき学習 (準備学習・事後学習等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・作家の略歴、作品について事前に調べましょう。 ・授業中に興味、関心をもったことや課題を、自分で意欲的に調べて解決するようにしましょう。 ・美術館、博物館、図書館などに足を運びましょう。 			

使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
・「振り返りカード」を毎時間提出します。		
・「作品カード」を毎時間配布し作品に貼付します。		
参考書又は参考資料等		
<p>○『見つめる 感じる 考える Watch Feel Think』=鑑賞学習資料：北九州市立美術館を活用した学習プログラム</p> <p>○『見つめる 感じる 考える Watch Feel Think』=平成 21・23 年度科学研究費補助金基盤研究（B）研究課題「対話による意味生成的な美術環境教育の地域カリキュラム開発」報告書</p>		
その他の（受講生への要望等）		
<ul style="list-style-type: none"> ・作業がしやすい服装で参加してください。 ・はさみ、のり、カッター、定規を各自で用意すると授業に取り組みやすくなります。 ・自主的に調べたり、展覧会に行つて鑑賞したりして提出したレポートは、重く評価します。 		
担当教員の連絡先等		
担当教員 E-mail	その他	
tsuru@hcc.ac.jp		

授 業 科 目 名	国語		
担 当 者 名	増田 夏彦		
科 目 コ ー ド	2000003	授 業 形 態	講義
学 年	1	開 講 期	前期
単 位 数	2	履 修 方 法	選択必修 美容師必修
授業の概要と方法	言葉は、発話者の心や心遣いが表現される大切なものである。日本語の言語としての特質を知ることが、日本語を正しく効果的に使うためにも重要なことであり、日本文化への理解をより一層深めることにもなる。 日本語の基礎を見直しながら、日本語の特質を探っていく。		
授業の到達目標	「国語」で学んだことを実践的に活用できるように、大学生として必要な一般常識問題や応用問題を繰り返し解くことで、思考力や想像力を伸ばし、更なる言語能力や表現能力の向上を図り、就職試験に役立てることが本講義の目標である。		
授 業 計 画 (○数字は、テキストの回数)			
1.	オリエンテーション ……授業の説明・計画。漢字の読み方・書き取り①		
2.	漢字の学習 ……漢字の構造(六書)		
3.	漢字の学習 ……漢字の部首(部首名「偏」)		
4.	漢字の学習 ……漢字の部首(部首名「偏」以外)		
5.	漢字の学習 ……漢字の部首(「偏」を含む漢字)		
6.	漢字の学習 ……漢字の部首(「偏」以外の部首を含む漢字)		
7.	熟語の学習 ……熟語の構造、二字・三字熟語⑤		
8.	熟語の学習 ……四字熟語(ア行～)⑥⑦		
9.	熟語の学習 ……四字熟語(ナ行～)⑧		
10.	漢字の使い分け ……同音異義語(ア行～)⑱⑲		
11.	漢字の使い分け ……同音異義語(サ行～)⑳㉑		
12.	漢字の使い分け ……同訓異義語㉒㉓		
13.	漢字の使い分け ……漢字の誤用㉔		
14.	漢字の学習 ……反意語・同意語㉕㉖		
15.	まとめ ……講義のまとめ		
成 績 評 価 の 方 法 [評価項目と割合]			
定期試験	授業への取組み姿勢・提出物		
70%	30%		
授業外で行うべき学習 (準備学習・事後学習等)			
・各回の講義にて、事後学習等について連絡をします。			
使 用 テ キ ス ト			
書籍名	著者	出版社	
三訂版 国語の常識 plus		明治書院	
参考書又は参考資料等			
・講義の中で、適宜紹介していきます。			
そ の 他 (受講生への要望等)			
※成績評価については、定期試験を行い、授業への取組み姿勢や提出物などを加味して、総合的に評価する。 ・とにかく社会人になって損をしない、恥をかかない国語力だけは身に付けてください。 ・テキストは必ず購入してください。数回終了後、テキストを持っていない者(なくした者を含む)には単位を出せません。 ・テキスト以外にもプリントを配布します。各自ファイルを用意すること。			
担当教員の連絡先等			
担当教員 E-mail	その他		
講義開始後に改めて連絡をします。	授業の前後 10 分間は、小倉北区キャンパス 2 号館 4 階非常勤講師室にて待機。		

授 業 科 目 名	社会福祉		
担 当 者 名	藤岡 良幸		
科 目 コ ー ド	2100024	授 業 形 態	講義
学 年	2	開 講 期	後期
単 位 数	2	履 修 方 法	選択必修 美容師必修 医療秘書必修
授業の概要と方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現代社会における社会福祉の意義・理念について理解させる。 ○ 社会福祉の法体系、制度及び行財政の要旨を理解させる。 ○ 社会福祉サービス体系における公私の役割活動について理解させる。 ○ 社会福祉援助技術及び福祉専門職の役割を理解させる。 ○ 社会福祉関連領域～医療福祉・地域福祉・ボランティア活動の概要を把握させる。 ○ 現代における利用者保護制度を理解させる。 		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代社会における社会福祉の全般について理解する。 具体的には、社会福祉の意義、理念、法体系、制度及び行財政、福祉専門職、関連領域について理解する。 		
授 業 計 画			
1.	本講義の概要及びオリエンテーション ①社会福祉の考え方		
2.	②社会福祉を取り巻く環境		
3.	③社会福祉の歴史		
4.	④社会福祉の仕組み		
5.	⑤社会福祉サービスの利用の仕組み		
6.	⑥社会福祉の機関と施設		
7.	⑦社会保障		
8.	⑧低所得者福祉		
9.	⑨児童家庭福祉		
10.	⑩高齢者福祉		
11.	⑪障害者福祉		
12.	⑫地域福祉		
13.	⑬利用者保護制度		
14.	⑭社会福祉援助技術		
15.	⑮社会福祉の担い手及び全体のまとめ		
成績評価の方法 【評価項目と割合】			
定期試験	授業への取り組み姿勢		
80%	20%		
授業外で行うべき学習 （準備学習・事後学習等）			
・ 授業終了後に、理解度・到達度のアンケートをとる。			
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
・ 参考資料配布			
参考書又は参考資料等			
○ 「保育福祉小六法 2014 年度版」(みらい)			
そ の 他 （受講生への要望等）			
・ 社会福祉に関する新聞記事を読んでおくこと。			
担当教員の連絡先等			
担当教員 E-mail	その他		
y-fujioka7@hcc.ac.jp			

授 業 科 目 名		社会学	
担 当 者 名		栗林 精司	
科 目 コ ー ド	2000006	授 業 形 態	講義
学 年	2	開 講 期	後期
単 位 数	2	履 修 方 法	選択必修
授業の概要と方法		<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の多様な側面を考え、自分の「立ち位置」を知り、生き方を考える。 ・テーマごとに「現実」のデータ事例に基づいて理解していく。 ・講義、板書を中心に授業。 	
授業の到達目標		<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代の社会が歴史的にどう形成されてきたのか、その推移を知る。 2. 将来どうなるか考え、自分が進む方向の一助になる知識を身につける。 3. 現在の社会の問題について一定の理解を持つ。 	
授 業 計 画			
1.	イントロダクション	—社会学について 何が対象か	
2.	社会階層	歴史的な社会階層の変遷、階層行動、自分ほどの階層か	
3.	人口論 (1)	少子高齢化とは その現状	
4.	人口論 (2)	少子化の推移、原因を考える (未婚、晩婚)	
5.	人口論 (3)	高齢化の推移、原因 (寿命など)	
6.	人口論 (4)	少子高齢化の問題、世代間アンバランス、解決策は…	
7.	学校から職業人へ	—高等教育機関への進学率アップ、雇用問題	
8.	流行を考える	—流行語を通して	
9.	豊かな社会と格差「相対」「絶対」	貧困率にみる格差、セーフティネット	
10.	少数者の視点 (1) 障がい者	—弱者からみると社会の本質がうかがえる	
11.	少数者の視点 (2) 在日外国人	—ボーダレス化、国際化が進む日本社会	
12.	成人とは	—成人年齢の考え方、少年法、民法、参政権について	
13.	ジェンダー	—女性の生き方、性差別など	
14.	親密性のワナ	—個人化、孤立化する中で「スマホ」など過剰に親密さを求める姿は…	
15.	幸福・希望について	—生きていくうえでの幸福、その尺度/生きる力を強くするには	
成績評価の方法 [評価項目と割合]			
期末課題レポート		小レポート (加点方式)	
80%		20%	
授業外で行うべき学習 (準備学習・事後学習等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・講義後に課された「重要傾向」についてレポートする。 ・次回テーマを伝えるので、自分にとっての課題を考える。 			
使用テキスト			
書籍名		著者	出版社
・講義中に適宜資料を配布する。			
参考書又は参考資料等			
○「少子化白書」「労働白書」日々の新聞記事など			
そ の 他 (受講生への要望等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・重要テーマの講義後に小レポート。 ・期末に課題レポート。 ・毎週配布するレジュメ資料に内容を肉付けすること。 ・社会の旬の話題 (ニュース) に関心を持つこと。 			
担当教員の連絡先等			
担当教員 E-mail		その他	
講義開始後に改めて連絡をします。		講義終了後 10 分間は、小倉北区キャンパス 2 号館 4 階非常勤講師室にて待機。	

授 業 科 目 名	経済学		
担 当 者 名	久保田 勝広		
科 目 コ ー ド	2120001	授 業 形 態	講義
学 年	2	開 講 期	後期
単 位 数	2	履 修 方 法	選択必修 情報処理士必修
授業の概要と方法	経済の現状を正しく理解し、評価する視点は、現代社会を生きる上で欠かせない要素となっています。本講義では、現実の経済・社会を理解・分析する力をつけ、社会人として最適な意思決定をするための基礎知識の習得を目的として、それらに関わる重要な基礎事項について理解を深めます。トピックな経済ニュースなどとも関連づけながら解説します。		
授業の到達目標	1) 経済社会の歴史の変遷と主要な経済学のアプローチの関係について説明できる。 2) 財政・金融政策の方法と効果、および国民所得との関係が説明できる。 3) 国際貿易の基礎理論、自由貿易・保護貿易の長所・短所が説明できる。 4) 新聞、TV ニュース等に出てくる経済問題を自分の頭で考えられるようになる。		
授 業 計 画			
1.	ガイダンス	: 講義方針、講義内容、評価方法、学習方法の説明	
2.	経済学とは何か	: 経済学の成り立ち、ミクロ経済学、マクロ経済学	
3.	貨幣の役割	: 起源、定義、機能	
4.	金融の役割	: 直接金融、間接金融、民間銀行、中央銀行	
5.	自由主義経済体制	: 分業、市場価格メカニズム	
6.	計画経済と混合経済	: 自由と平等、市場の失敗	
7.	財政政策	: フィスカルポリシー、ビルトイン・スタビライザー	
8.	金融政策	: 公定歩合政策、公開市場操作、支払準備率操作	
9.	新自由主義経済	: マネタリズム、競争原理と規制緩和、格差社会	
10.	インフレーションとデフレーション	: 発生要因と経済社会に与える影響	
11.	国際貿易	: 比較優位、国際分業、自由貿易主義、保護貿易主義	
12.	経済学の新たな領域	: 行動の不合理性、行動経済学	
13.	現代日本の経済問題	: 長引くデフレ不況、円高、社会保障・年金問題	
14.	暮らしと経済	: 日々の暮らしと経済とのかかわり、賢い生活者となるために	
15.	総括	: 既習範囲の重点項目の整理	
成績評価の方法 [評価項目と割合]			
定期試験	小テスト		
80%	20%		
授業外で行うべき学習 (準備学習・事後学習等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・準備学習として、シラバス記載の授業計画の内容を参考にしながら、インターネット、図書館等で関連キーワードについて調べておくこと。 ・事後学習として、授業中に指摘した重点項目、小テストでとりあげたポイントを反復して覚える。実際の経済ニュース、事象に照らして考える。 			
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
・適宜プリント資料を配布します。			
参考書又は参考資料等			
<ul style="list-style-type: none"> ○「経済学・入門第2版」塩澤修平 (有斐閣アルマ) 〈ウェブサイト〉 ○日本経済新聞社 http://www.nikkei.com ○経済産業省 http://www.meti.go.jp ○財務省 http://www.mof.go.jp ○金融庁 http://www.fsa.go.jp 			
そ の 他 (受講生への要望等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・講義内容、準備学習・事後学習で理解し難いところ、疑問点等があれば遠慮せずに質問し早期の解決をはかること (質問等は、下記アドレスで常時受け付けます)。 ・日頃から経済ニュース・記事に関心をもってください。 			
担当教員の連絡先等			
担当教員 E-mail	その他		
hiro kub320fb6iotjphd@y4.dion.ne.jp	授業終了後 10 分間は小倉北区キャンパス 2 号館 4 階非常勤講師室にて質問等対応可。		

授 業 科 目 名	統計学		
担 当 者 名	山本 浩貴		
科 目 コ ー ド	2120002	授 業 形 態	講義
学 年	1	開 講 期	前期
単 位 数	2	履 修 方 法	選択必修 情報処理士必修
授業の概要と方法	<p>統計学とは、数値などの様々なデータを集め、整理してグラフなどに表したりすることによって、その集団の特徴や性質を調べるための学問である。この統計学をできる限り、数式を使わずわかりやすく解説する。</p> <p>企業では、販売数や売上高などのデータを集計し分析し、数ヶ月先の売上を予測したり、どのような商品が売れ、どのような商品が売れていないかを調べて予測しなければならない。売れる商品が売れる時に売れる分だけ用意できれば、販売戦略が優位に進む。企業ではこのような確かな分析と予測をし、売上を伸ばすよう努力している。この講座では、グラフなどを使って全体像をつかむ事を主な目的とし、ビジネス社会に入って経験するであろう、分析の方法や表現法を学習する。</p>		
授業の到達目標	<p>1. 実社会において上記のような基本的統計の活用ができるレベルを目標とする。</p> <p>2. ビジネス社会で働く者にとって、基本的統計学の活用ができるレベルを目標とする。</p>		
授 業 計 画			
1.	統計学とは。どのように実社会で統計学が活用されているか		
2.	質的データ、量的データ		
3.	様々な分析用グラフ		
4.	度数分布表とヒストグラムの作成。基本問題		
5.	度数分布表とヒストグラムの作成。応用課題		
6.	小テスト（基本問題）		
7.	平均、中央値、最頻値		
8.	分散、標準偏差		
9.	小テスト（分散と標準偏差）		
10.	散布図と相関分析		
11.	回帰分析。市場における需要予測への利用		
12.	確立の基礎		
13.	確立における加法定理、乗法定理、余事象の定理		
14.	正規分布とは。正規分布による予測		
15.	まとめ		
成 績 評 価 の 方 法 〔評価項目と割合〕			
定期試験	課題	その他	
60%	30%	10%	
授業外で行うべき学習（準備学習・事後学習等）			
・復習を重点的に学習すること。例題の意味を理解し、練習問題を反復して解き、理解してほしい。			
使 用 テ キ ス ト			
書籍名	著者	出版社	
はじめての統計学	鳥居泰彦	日本経済新聞社	
参 考 書 又 は 参 考 資 料 等			
・授業の進度に応じて適宜紹介する。			
そ の 他（受講生への要望等）			
・毎回の積み重ねなので、欠席しないように。			
担 当 教 員 の 連 絡 先 等			
担当教員 E-mail	その他		
yamamoto555@gmail.com			

授 業 科 目 名	国際理解		
担 当 者 名	竹並 正宏		
科 目 コ ー ド	2000010	授 業 形 態	※講義と研修
学 年	1	開 講 期	前期
単 位 数	2	履 修 方 法	選択
授業の概要と方法	<p>本学は、平成13年に韓国・釜山女子大学と姉妹校締結をした。教育目標として、学生達のより積極的な国際意識と外国の教育現場における国際的交流感覚の高揚というねらいで国際的感覚を持った人材を育成することをテーマに、釜山女子大学は建学の理念である現代の韓国社会の要請に応ずる人材の育成と徳性教育により、創意、誠実、礼節をそなえた明るく礼儀正しい人材を育て上げる教育に重点を置いた大学である。日韓の文化を相互に理解し、韓国語をトータルに学び、いかに実践的に活用できるかを目的とする。</p>		
授業の到達目標	<p>1. 学生達のより積極的な参加意識と外国の教育現場における国際的交流感覚の高揚というねらいで、国際的感覚を持った人材に成長しようとする姿勢が身に付いている。</p> <p>2. 日本と韓国との文化を相互に理解して、また韓国語をトータルに学び、その学んだことをいかに実践的に活用できる姿勢が身に付いている。</p>		
授 業 計 画			
1.	オリエンテーション……国際交流の目的について		
2.	マナーについて……目上に対する挨拶の仕方（会話）・挨拶の仕方		
3.	韓国の教育について……学歴社会の特徴（会話）・挨拶の仕方		
4.	韓国の食生活について……韓国料理と食文（会話）・数の数え方①		
5.	韓国の自然について……各都市の把握とオンドル（会話）・数の数え方②		
6.	韓国の交通について……地下鉄やタクシーの乗り方（会話）買い物での会話①		
7.	韓国の姓氏について……父系の血統（会話）・買い物での会話②		
8.	韓国の家屋について……建築と町並み（会話）・買い物での会話③		
9.	韓国の年中行事について……年間の風習（会話）・時間と曜日①		
10.	韓国の経済について……同族的経営（会話）・時間と曜日②		
11.	韓流スターについて……日本における韓流（会話）・ホテルでの会話①		
12.	日韓の歴史について……韓国人の対日観①（会話）・ホテルでの会話②		
13.	日韓の文化交流について……韓国人の対日観②（会話）・場面別会話①		
14.	渡航手続きについて……最終日程の説明指導（会話）・場面別会話②		
15.	結団式		
成績評価の方法〔評価項目と割合〕			
報告書	研修中の態度	授業への取組み姿勢	
60%	20%	20%	
授業外で行うべき学習（準備学習・事後学習等）			
<p>・国際化の取り組みの中で、海外で日本人としての自覚に基づき目的や状況に応じた適切な言動をとることが重要であることを認識して臨む。</p>			
使 用 テ キ ス ト			
書籍名	著者	出版社	
・プリントを配布（テレビでハンゲル講座等）			
参考書又は参考資料等			
○「韓国入門」山本剛士（三省堂選書）			
そ の 他（受講生への要望等）			
<p>・定期試験は実施しない。担当教員が、事前学習の受講態度、研修中の状況及び研修終了後の報告書（レポート）を総合的に評価する。</p> <p>・テレビでハンゲル講座などの視聴覚を使いながら、より具体的にわかりやすく進めていく。</p> <p>・学生達のより積極的な参加意識と外国の教育現場における国際的交流感覚の高揚というねらいで、国際的感覚を持った人材に成長しようとする姿勢が身に付くように世界で起きている諸問題に目を向けて授業に臨んでほしい。</p>			
担当教員の連絡先等			
担当教員 E-mail	その他		
takenami@knwu.ac.jp			

授 業 科 目 名	英語 I		
担 当 者 名	笹原 ひとみ		
科 目 コ ー ド	2000017	授 業 形 態	演習
学 年	1	開 講 期	前期
単 位 数	1	履 修 方 法	必修 美容師必修 医療秘書必修
授業の概要と方法	ショートストーリーを楽しむことができる英語力を身につけることを目標に語の選択、並びかえ、英作文など多彩なエクササイズを多くこなして、英語の基本的な仕組みを理解し読解に応用します。		
授業の到達目標	1. 英文法の基本を理解する。 2. 身近なことを英語で書くことができる。 3. ストーリーを読むことができる。		
授 業 計 画			
1.	A very Smart Dog(1)	語彙強化、文法	
2.	A very Smart Dog(2)	読解、聴解、要約	
3.	The Gift(1)	語彙強化、文法	
4.	The Gift(2)	読解、聴解、要約	
5.	An Amazing talking Dog(1)	語彙強化、文法	
6.	An Amazing talking Dog(2)	読解、聴解、要約	
7.	English Language(1)	語彙強化、文法	
8.	English Language(2)	読解、聴解、要約	
9.	It Hurts !(1)	語彙強化、文法	
10.	It Hurts !(2)	読解、聴解、要約	
11.	Cold Cream(1)	語彙強化、文法	
12.	Cold Cream(2)	読解、聴解、要約	
13.	Diet Problem(1)	語彙強化、文法	
14.	Diet Problem(2)	読解、聴解、要約	
15.	Review		
成績評価の方法 [評価項目と割合]			
定期試験	小テスト		
50%	50%		
授業外で行うべき学習 (準備学習・事後学習等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・基本文法及び構文の確認 ・演習の復習 等 			
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
Laugh and Learn	Keiko Kimura	南雲堂	
参考書又は参考資料等			
<ul style="list-style-type: none"> ・Breaking News English http://www.breakingnewsenglish.com/ ・TED-Ed http://ed.ted.com/ 			
そ の 他 (受講生への要望等)			
<p>※成績評価については、各授業内で毎回実施する小テストと定期試験の結果にて、総合的に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本英文法を身につけて様々なメディアの英語を楽しんでください。 			
担当教員の連絡先等			
担当教員 E-mail	その他		
hitomisty@gmail.com	講義終了後の質問等対応可。		

授 業 科 目 名	英語 II		
担 当 者 名	笹原 ひとみ		
科 目 コ ー ド	2000018	授 業 形 態	演習
学 年	1	開 講 期	後期
単 位 数	1	履 修 方 法	必修 美容師必修 医療秘書必修
授業の概要と方法	ショートストーリーを楽しむことができる英語力を身につけることを目標に語の選択、並びかえ、英作文など多彩なエクササイズを多くこなして、英語の基本的な仕組みを理解し読解に応用します。		
授業の到達目標	1. 英文法の基本を理解する。 2. 身近なことを英語で書くことができる。 3. ストーリーを読むことができる。		
授 業 計 画			
1.	Memory Problem (1)	語彙強化、文法	
2.	Memory Problem (2)	読解、聴解、要約	
3.	Memory Problem (3)	読解、聴解、要約、作文	
4.	A Good Chess Player (1)	語彙強化、文法	
5.	A Good Chess Player (2)	読解、聴解、要約	
6.	A Good Chess Player (3)	読解、聴解、要約、作文	
	A Mime in a Zoo (1)	語彙強化、文法	
7.	A Mime in a Zoo (2)	読解、聴解、要約	
8.	A Mime in a Zoo (3)	読解、聴解、要約、作文	
9.	A Snail's Fast New Car (1)	語彙強化、文法	
10.	A Snail's Fast New Car (2)	読解、聴解、要約	
11.	A Snail's Fast New Car (3)	読解、聴解、要約、作文	
12.	You Know How To Cope (1)	語彙強化、文法	
13.	You Know How To Cope (2)	読解、聴解、要約	
14.	You Know How To Cope (3)	読解、聴解、要約、作文	
15.	Review		
成績評価の方法 [評価項目と割合]			
定期試験	小テスト		
50%	50%		
授業外で行うべき学習 (準備学習・事後学習等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・基本文法及び構文の確認 ・演習の復習 等 			
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
Laugh and Learn	Keiko Kimura	南雲堂	
参考書又は参考資料等			
<ul style="list-style-type: none"> ・ Breaking News English http://www.breakingnewsenglish.com/ ・ TED-Ed http://ed.ted.com/ 			
そ の 他 (受講生への要望等)			
<p>※成績評価については、各授業内で毎回実施する小テストと定期試験の結果にて、総合的に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本英文法を身につけて様々なメディアの英語を楽しんでください。 			
担当教員の連絡先等			
担当教員 E-mail	その他		
hitomisty@gmail.com	講義終了後の質問等対応可。		

授 業 科 目 名	スポーツ健康科学 I		
担 当 者 名	石原 勇次郎		
科 目 コ ー ド	2000019	授 業 形 態	講義・実技
学 年	1	開 講 期	前期
単 位 数	1	履 修 方 法	必修 美容師必修
授業の概要と方法	講義においては、健康の維持・増進や生活習慣病の予防、精神の安定（ストレスマネジメント）、文化としてのスポーツの意味合い等を理解し、多角的にスポーツを捉えることで、健康的な生活をおくる為の知識を習得する。特に「スポーツ健康科学 I」では自身の身体の状態を把握・理解することに注力する。また、実技においては、講義にて得られた知識をもとに、生涯にわたり継続可能なスポーツ種目に親しむことのできる能力獲得を目標にし、自らが主体的な姿勢で取り組み、各種スポーツのルールを理解と実践、身体を動かす楽しさや重要性を理解する。		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 自身の身体の状態を把握、理解する。 健康の維持、増進の為の知識を得る。 様々な角度からスポーツを捉え、文化としてのスポーツの意味を理解する。 自ら進んで行動し、主体的な姿勢と態度で取り組むことができる。 スポーツのルールを理解し、実践できる。 		
授 業 計 画			
1.	実技 オリエンテーションおよび学内レクスポ大会に向けた練習①		
2.	実技 学内レクスポ大会に向けた練習②（出場種目の練習）		
3.	実技 体力測定①（成人期を前にした身体状態の把握）		
4.	実技 体力測定②（持久力の測定と私生活における運動習慣と食生活の調査）		
5.	実技 ニュースポーツ①（ドッジビーにおけるルールと基本テクニックの理解・習得）		
6.	実技 ニュースポーツ②（試合）		
7.	実技 フットサル①（ルールと基本テクニックの理解・習得）		
8.	実技 フットサル②（基礎練習と試合）		
9.	実技 バドミントン①（ルールと基本テクニックの理解・習得）		
10.	実技 バドミントン②（基礎練習とダブルス試合）		
11.	実技 バドミントン③（ダブルス試合）		
12.	実技 選択種目①（スポーツ健康科学 I で経験した種目からクラスで選択）		
13.	実技 選択種目②（スポーツ健康科学 I で経験した種目からクラスで選択）		
14.	講義 運動やスポーツの魅力（必要性和楽しさの仕組み）		
15.	講義 心身の発育発達（発育発達に必要な運動の理解と前期のまとめ）		
成績評価の方法 〔評価項目と割合〕			
授業への取り組み姿勢	講義毎の小レポート	理解度確認小テスト	ゲーム結果
60%	20%	10%	10%
授業外で行うべき学習（準備学習・事後学習等）			
<ul style="list-style-type: none"> ・前期最後の講義にて小テストを実施するので、講義で配られた資料を各自まとめておくこと。 ・新聞等を読み、日頃からスポーツ、健康に関する情報を収集するよう努めること。 			
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
・講義中に適宜、資料を配布する。			
参考書又は参考資料等			
特になし			
そ の 他（受講生への要望等）			
※授業態度評価については、授業後に記入する自己評価表と教員による評価を合わせたものとする。			
①講義を行う際は前週までに掲示をするので、各自確認を行い、指定された講義室に筆記用具を持って集合すること。毎回の授業では資料を配布し記述をしてもらいます。授業の終わりに感想や意見を記述する小レポートを課します。また、前期まとめの際に、配布資料をもとにした理解度確認小テストを実施するので、各自資料の管理を行い受講すること。			
②実技は基本的に第一体育館で実施しますが、場所の変更が生じる際は前週に告知をします。実技の際はピアス、アクセサリ等をはずして集合し、運動に適した服装と運動靴（体育館では指定されたシューズ）を着用すること。尚、体調不良により実技に参加できない場合は速やかに担当教員に申し出ること。			
担当教員の連絡先等			
担当教員 E-mail	その他		
ishiharay@hcc.ac.jp			

授 業 科 目 名	スポーツ健康科学 II		
担 当 者 名	石原 勇次郎		
科 目 コ ー ド	2000020	授 業 形 態	講義・実技
学 年	1	開 講 期	後期
単 位 数	1	履 修 方 法	必修 美容師必修
授業の概要と方法	<p>「スポーツ健康科学II」では、原則的に「スポーツ健康科学I」を習得してから履修するものとする。講義においては、「スポーツ健康科学I」に引き続き、健康の維持・増進や生活習慣病の予防、精神の安定（ストレスマネジメント）、文化としてのスポーツの意味合い等を理解し、多角的にスポーツを捉えることで、健康的な生活をおくる為の知識を習得する。また、実技では、講義にて得られた知識をもとに、生涯にわたり継続可能なスポーツ種目に親しむことのできる能力獲得を目標にし、各種スポーツのルールを理解と実践、身体を動かす楽しさや重要性を理解し、自らが主体的な姿勢で実践する。</p>		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康の維持、増進の為の知識を得る。 2. 様々な角度からスポーツを捉え、文化としてのスポーツの意味を理解する。 3. 自ら進んで行動し、主体的な姿勢と態度で取り組むことができる。 4. スポーツのルールを理解し、実践できる。 5. 運動の楽しさを知り、運動を習慣化できる。 		
授 業 計 画			
1.	講義 オリエンテーション		
2.	実技 バレーボール・ソフトバレーボール①（ルールと基本テクニックの理解・習得）		
3.	実技 バレーボール・ソフトバレーボール②（基礎練習と試合）		
4.	実技 バレーボール・ソフトバレーボール③（応用練習と試合）		
5.	実技 バレーボール・ソフトバレーボール④（試合）		
6.	実技 バスケットボール①（ルールと基本テクニックの理解・習得）		
7.	実技 バスケットボール②（基礎練習と試合）		
8.	実技 バスケットボール③（応用練習と試合）		
9.	実技 バスケットボール④（試合）		
10.	実技 選択種目①（スポーツ健康科学I・IIを通して経験した種目からクラスで選択）		
11.	実技 選択種目②（スポーツ健康科学I・IIを通して経験した種目からクラスで選択）		
12.	実技 選択種目③（スポーツ健康科学I・IIを通して経験した種目からクラスで選択）		
13.	実技 選択種目④（スポーツ健康科学I・IIを通して経験した種目からクラスで選択）		
14.	講義 運動やスポーツの効果と安全（心身への影響）		
15.	講義 将来を見据えた運動への取り組み（体力テストの結果とまとめ）		
成 績 評 価 の 方 法 【評価項目と割合】			
授業への取り組み姿勢	講義毎の小レポート	理解度確認小テスト	ゲーム結果
60%	20%	10%	10%
授業外で行うべき学習（準備学習・事後学習等）			
<ul style="list-style-type: none"> ・後期最後の講義にて小テストを実施するので、講義で配られた資料を各自まとめておくこと。 ・新聞等を読み、日頃からスポーツ、健康に関する情報を収集するよう努めること。 			
使 用 テ キ ス ト			
書籍名	著者	出版社	
・講義中に適宜、資料を配布する。			
参 考 書 又 は 参 考 資 料 等			
特になし			
そ の 他（受講生への要望等）			
<p>※授業態度評価については、授業後に記入する自己評価表と教員による評価を合わせたものとする。</p> <p>①講義を行う際は前週までに掲示をするので、各自確認を行い、指定された講義室に筆記用具を持って集合すること。毎回の授業では資料を配布し記述をしてもらいます。授業の終わりに感想や意見を記述する小レポートを課します。また、前期まとめの際に、配布資料をもとにした理解度確認小テストを実施するので、各自資料の管理を行い受講すること。</p> <p>②実技は基本的に第一体育館で実施しますが、場所の変更が生じる際は前週に告知をします。実技の際はピアス、アクセサリ等をはずして集合し、運動に適した服装と運動靴（体育館では指定されたシューズ）を着用すること。尚、体調不良により実技に参加できない場合は速やかに担当教員に申し出ること。</p>			
担 当 教 員 の 連 絡 先 等			
担当教員 E-mail	その他		
ishiharay@hcc.ac.jp			

授 業 科 目 名	美容ファッションビジネス論		
担 当 者 名	阿部 敬一郎		
科 目 コ ー ド	2100002	授 業 形 態	講義
学 年	2	開 講 期	前期
単 位 数	2	履 修 方 法	必修
授業の概要と方法	学生として、社会に出るものとして必要である基礎知識を学ぶ。課題を通じて各々のコース、フィールドに応じた実践のテーマを考える。		
授業の到達目標	美容ファッションビジネス学科の学生として、コースやフィールドを超えて共通した価値観を形成する。		
授 業 計 画			
1.	美容ファッションビジネス論の概要、授業の進め方の説明		
2.	対人スキル		
3.	文章表現力		
4.	計算力・ロジカルシンキング		
5.	道徳性の発達		
6.	スケジュール管理能力		
7.	公共財と私財		
8.	予実管理から新しい計画を立てる		
9.	自己啓発の考え方と目標の立て方		
10.	市場調査法		
11.	5S（整理・整頓・清掃・しつけ）活動		
12.	自己課題の抽出と解決方法		
13.	美容とファッションの学校、ビジネススキルの学校（競合分析）		
14.	東筑紫短期大学の学生として（集合組織論）		
15.	まとめ		
成 績 評 価 の 方 法 【評価項目と割合】			
定期試験	課題		
70%	30%		
授業外で行うべき学習（準備学習・事後学習等）			
・授業時間内に終わらない課題は、次回の授業までに終わらせること。			
使 用 テ キ ス ト			
書籍名	著者	出版社	
使用しない			
参 考 書 又 は 参 考 資 料 等			
・必要とする参考資料を配布。			
そ の 他（受講生への要望等）			
・参考資料は事前に知らせるので、授業前までに目を通すこと。			
担 当 教 員 の 連 絡 先 等			
担当教員 E-mail	その他		
abe@hcc.ac.jp			

授 業 科 目 名	プレゼンテーション論		
担 当 者 名	阿部 敬一郎		
科 目 コ ー ド	2100004	授 業 形 態	講義
学 年	1	開 講 期	前期
単 位 数	2	履 修 方 法	必修 美容師必修 ビジネス実務士必修 情報処理士必修
授業の概要と方法	世界一流のプレゼンを披露し聴衆の心を魅了する「TED」。TED トークの分析から世界で通用するプレゼンテクニックを学ぶ。プレゼンテーション作成に活かせる理論を体系化していく。		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を発信する上で必要な準備を理解し、自らがプレゼンテーションを行う上で必要とされるスキルを会得できる。 ・誰にでもわかりやすい意見の表示を目指す。 		
授 業 計 画			
1.	プレゼンテーション論とは? 授業の進め方の説明		
2.	プレゼンテーションで成功するために		
3.	プレゼンテーションの基礎		
4.	プレゼンテーションと信用値		
5.	騙しやすい成功体験		
6.	課題を整理する方法		
7.	ユーモア		
8.	視覚にうったえる資料		
9.	優れたストーリーを作る基本		
10.	プレゼンテーションに備えること		
11.	プレゼンテーションに使う事例紹介		
12.	誰にでも感動するプレゼンテーションはない		
13.	プレゼンテーション中の観察		
14.	これからのプレゼンテーションに求められること		
15.	新しいプレゼンテーションツールによって変わることを、総括		
成績評価の方法 [評価項目と割合]			
定期試験	課題		
70%	30%		
授業外で行うべき学習 (準備学習・事後学習等)			
・授業内で終わらない課題は次の授業までに終えること。			
使 用 テ キ ス ト			
書籍名	著者	出版社	
TED に学ぶ最強のプレゼン術	アカッシュ・カリア	SBクリエイティブ	
参考書又は参考資料等			
・必要とされる場合は参考資料を配布するので、ファイリングできるようにすること。			
そ の 他 (受講生への要望等)			
・理論を学ぶ上に、オリジナルの考えを加えることを意識すること。			
担当教員の連絡先等			
担当教員 E-mail	その他		
abe@hcc.ac.jp			

授 業 科 目 名	情報リテラシー		
担 当 者 名	的野 和靖		
科 目 コ ー ド	2100023	授 業 形 態	演習
学 年	1	開 講 期	前期
単 位 数	2	履 修 方 法	必修 美容師必修 ビジネス実務士必修 情報処理士必修
授業の概要と方法	コンピュータの基本操作、Web による情報検索、メールの基礎知識と実践、情報セキュリティ、ファイルシステム、Office ソフトの基本操作方法と活用方法を学び、学生生活、社会生活などにコンピュータを有効活用していくための基礎知識を身につける。		
授業の到達目標	1) コンピュータの基本操作ができる。 2) Web より必要な情報が検索できる。 3) ビジネスメールを送受信できる。 4) Office ソフト (Word、Excel、PowerPoint) の基本操作ができる。		
授 業 計 画			
1.	Windows7 の基本操作 オリエンテーション ログイン・パスワード変更		
2.	パソコンの構成 インターネット・電子メールの仕組み		
3.	電子メール演習		
4.	文書作成ソフト (Word) 演習(1) 基本操作		
ファッション・ビジネスコース		美容師コース	
5.	文書作成ソフト (Word) 演習(2) 課題作成	文書作成ソフト (Word) 演習(2) ビジネス文書	
6.	情報セキュリティと情報モラル	文書作成ソフト (Word) 演習(3) ワードアート・クリップアート・図形・テキストボックス	
7.	プレゼンテーションソフト (PowerPoint) 演習(1) 基本操作	文書作成ソフト (Word) 演習(4) DTP 文書	
8.	プレゼンテーションソフト (PowerPoint) 演習(2) 課題作成	文書作成ソフト (Word) 演習(5) 総合演習	
9.	コンピュータの基礎知識問題	情報セキュリティと情報モラル	
10.	表計算ソフト (Excel) 演習(1) 基本操作	プレゼンテーションソフト (PowerPoint) 演習(1) 基本操作	
11.	表計算ソフト (Excel) 演習(2) グラフ	プレゼンテーションソフト (PowerPoint) 演習(2) 課題作成	
12.	表計算ソフト (Excel) 演習(3) データの並べ替え	表計算ソフト (Excel) 演習(1) 基本操作	
13.	表計算ソフト (Excel) 演習(4) 関数	表計算ソフト (Excel) 演習(2) グラフ・関数	
14.	表計算ソフト (Excel) 演習(5) 総合演習	表計算ソフト (Excel) 演習(3) 総合演習	
15.	まとめ		
成績評価の方法 [評価項目と割合]			
定期試験	授業への取り組み姿勢・参加意欲	レポート・小テスト	
60%	20%	20%	
授業外で行うべき学習 (準備学習・事後学習等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・前回の授業内容は復習すること。 ・欠席した場合は、欠席した回の授業を確認し、次回までに追い付いておくこと。 			
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
情報処理入門 (Windows7 版)		システムテクニカルサービス株式会社	
参考書又は参考資料等			
<ul style="list-style-type: none"> ・適宜資料を配布する。 			
そ の 他 (受講生への要望等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な説明を行った後に演習を行います。 ・基本的なことから学修しますので、臆することなく授業に参加してください。 			
担当教員の連絡先等			
担当教員 E-mail	その他		
matono@hcc.ac.jp (講義時) / hccmatono@gmail.com (講義外)	講義終了後の質問等対応可。		

授 業 科 目 名		キャリアアップ演習 I	
担 当 者 名		学科教員	
科 目 コ ー ド	2100038	授 業 形 態	演習
学 年	1	開 講 期	通年
単 位 数	1	履 修 方 法	必修
授業の概要と方法	<p>情報化・グローバル化・少子高齢化・消費社会等の時代背景を踏まえ、社会人として自立できる「生きる力」の育成を主眼とします。</p> <p>社会的及び職業的自立を図るために必要な能力、「確かな学力」「豊かな人間性」「健康」という3つの柱を基盤に、多方面からの授業展開を行います。</p>		
授業の到達目標	<p>1. 職業人として必要な基礎的学力を修得する。</p> <p>2. 社会人として必要なコミュニケーション能力を向上させる。</p> <p>3. 生活者として必要な一般常識を認識する。</p> <p>4. 心身共に健康な、人間力を形成する。</p>		
授 業 計 画			
1.	オリエンテーション	16.	後期 授業スケジュールの説明
2.	レクスポ大会の意義：競技メンバーの選出	17.	社会人としてのマナー：ビジネスマナー
3.	レクスポ大会の準備：競技の理解・練習	18.	就職ガイダンス「就職活動開始にあたって」
4.	学生生活について 入学後1ヵ月が経過、卒業までの自己計画	19.	大学祭準備 コースに分かれ展示・行事の準備〈1・2年合同〉
5.	免許・資格・検定受験について（コース別説明会）	20.	大学祭の反省及び留意点について
6.	就職ガイダンス：就職するという事の意義	21.	大学祭の反省及び留意点について
7.	学科長講話・大学祭の意義：約割分担〈1・2年合同〉	22.	社会人としてのマナー：身だしなみ
8.	夏期集中講義について（コース別説明会）	23.	免許・資格・検定対策講座（コース別）
9.	免許・資格・検定対策講座（コース別）	24.	行事教育「針供養・学内成人式の意義」〈1・2年合同〉
10.	就職ガイダンス：自己分析とライフプラン	25.	針供養・学内成人式の反省及び留意点について
11.	社会人としてのマナー：コミュニケーション	26.	人権教育「同和教育講座」（外部講師）
12.	特別講義 リプロダクティブ ヘルス・ライツ （外部講師）	27.	1年次における取得単位数について 冬期休暇中の留意点
13.	感染症予防について （1・2年合同）	28.	就職講座「2年生からのメッセージ」
14.	大学祭について コースに分かれ展示・行事の計画〈1・2年合同〉	29.	後期定期試験及び学年末スケジュールについて
15.	前期定期試験及び夏期休暇中の留意点	30.	1学年の自己総括（目標の達成状況と自己分析・課題）
成 績 評 価 の 方 法 〔評価項目と割合〕			
授業への取組み・参加姿勢・積極性		レポート	
60%		40%	
授 業 外 で 行 う べ き 学 習 （準備学習・事後学習等）			
・各回の講義において、事前準備・事後学習等について連絡します。			
使 用 テ キ ス ト			
書籍名		著者	出版社
使用しない			
参 考 書 又 は 参 考 資 料 等			
・講義中に適宜、資料を配布する。			
そ の 他 （受講生への要望等）			
・外部講師等のスケジュール変更により、実施時期が変動する可能性があります。掲示連絡に注意してください。			
担 当 教 員 の 連 絡 先 等			
担当教員 E-mail		その他	
講義開始後に改めて連絡をします。			

授 業 科 目 名		キャリアアップ演習 II	
担 当 者 名		学科教員	
科 目 コ ー ド	2100039	授 業 形 態	演習
学 年	2	開 講 期	通年
単 位 数	1	履 修 方 法	必修
授業の概要と方法	情報化・グローバル化・少子高齢化・消費社会等の時代背景を踏まえ、社会人として自立できる「生きる力」の育成を主眼とします。 社会的及び職業的自立を図るために必要な能力、「確かな学力」「豊かな人間性」「健康」という3つの柱を基盤に、多方面からの授業展開を行います。		
授業の到達目標	1. 職業人として必要な基礎的学力を修得する。 2. 社会人として必要なコミュニケーション能力を向上させる。 3. 生活者として必要な一般常識を認識する。 4. 心身共に健康な、人間力を形成する。		
授 業 計 画			
1.	オリエンテーション／就職へ向けての個別面談	16.	後期 授業スケジュールの説明
2.	レクスポ大会の意義 競技メンバーの選出	17.	取得単位数の最終確認 卒業へ向けての個別面談
3.	レクスポ大会の準備：競技の理解・練習	18.	パフォーマンス・アート（身体表現） ②ウォーキング
4.	就職ガイダンス：就職活動の方向	19.	大学祭準備：コースに分かれ展示・行事の準備 (1・2年合同)
5.	就職試験対策「SPI 講座」 (外部講師)	20.	大学祭準備：展示ボードの準備 (地下倉庫から各フロア) (1・2年合同)
6.	就職講座「卒業生からのメッセージ」一般・アパレル	21.	大学祭の反省及び留意点について
7.	学科長講話・大学祭の意義：約割分担 (1・2年合同)	22.	就職講座「卒業生からのメッセージ」美容関係
8.	パフォーマンス・アート（身体表現） ①スタンディング	23.	パフォーマンス・アート ③ダンス / 美容師国家試験対策授業
9.	地域社会とのコラボレーション計画 学外活動の説明	24.	行事教育「針供養・学内成人式の意義」(1・2年合同)
10.	域社会とのコラボレーション計画 学外活動の説明	25.	針供養・学内成人式の反省及び留意点 / 美容師国家試験対策授業
11.	就職講座「卒業生からのメッセージ」金融・医療	26.	卒業制作展・ファッションショーの計画 / 美容師国家試験対策授業
12.	オープンキャンパスについて：コースに分かれ準備	27.	冬期休暇中の留意点 / 美容師国家試験対策授業
13.	感染症予防について (1・2年合同)	28.	検定対策最終講座（コース別） / 美容師国家試験対策授業
14.	大学祭について コースに分かれ展示・行事の計画 (1・2年合同)	29.	後期定期試験及び年度末学年スケジュールについて
15.	前期定期試験及び夏期休暇中の留意点	30.	学生生活の自己総括（目標の達成状況を自己分析）
成 績 評 価 の 方 法 【評価項目と割合】			
授業への取組み・参加姿勢・積極性		レポート	
60%		40%	
授 業 外 で 行 う べ き 学 習 (準備学習・事後学習等)			
・各回の講義において、事前準備・事後学習等について連絡します。			
使 用 テ キ ス ト			
書籍名	著者	出版社	
使用しない			
参 考 書 又 は 参 考 資 料 等			
・講義中に適宜、資料を配布する。			
そ の 他 (受講生への要望等)			
・外部講師等のスケジュール変更により、実施時期が変動する可能性があります。掲示連絡に注意してください。			
担 当 教 員 の 連 絡 先 等			
担当教員 E-mail		その他	
講義開始後に改めて連絡をします。			

授 業 科 目 名	人間関係論		
担 当 者 名	白川 美知子		
科 目 コ ー ド	2100001	授 業 形 態	講義
学 年	2	開 講 期	前期
単 位 数	2	履 修 方 法	必修 ビジネス実務士必修 情報処理士必修
授業の概要と方法	①人間関係のあり方を理解し、自分と他者を動かす人間関係の構築について学習します。 ②チーム基盤型学習 (team-based learning, TBL) をとり入れ、問題解決を図ります。		
授業の到達目標	①チーム基盤型学習 (team-based learning, TBL) をとり入れ、誰とでもコミュニケーションがとれるようにします。 ②組織活動にかなった良好な人間関係を築けるようにします。 ③組織の中で、スムーズに人間関係を築き問題解決を図ることを目標とします。		
授 業 計 画			
1.	オリエンテーション		
2.	チーム基盤型学習 (team-based learning, TBL) 事例①		
3.	人間の幸せとビジネス活動	XY 理論	
4.	人間はなぜ働くのか	マズロー欲求の 5 段階	
5.	テイラーの科学的管理法、ホーソン実験、	パブロフの犬	
6.	チーム基盤型学習 (team-based learning, TBL) 事例②		
7.	自己理解と他者理解	エゴグラム作成	
8.	コミュニケーションの重要性	良好な人間関係を築くコミュニケーションの取り方	
9.	相手の存在や価値を認める	エゴグラムの応用	
10.	チーム基盤型学習 (team-based learning, TBL) 事例③		
11.	相手と自分をよく知るソーシャルスタイル		
12.	職場の人間関係の重要性(1)		
13.	職場の人間関係の重要性(2)		
14.	チーム基盤型学習 (team-based learning, TBL) 事例④		
15.	まとめ		
成 績 評 価 の 方 法 [評価項目と割合]			
定期試験	グループワーク	プレゼンテーション	授業への取り組み姿勢
30%	30%	20%	20%
授業外で行うべき学習 (準備学習・事後学習等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・準備学習は、課題の事前準備をしておくこと。 ・事後学習は、毎回のまとめをしておくこと。 			
使 用 テ キ ス ト			
書籍名	著者	出版社	
・講義中に適宜、資料を配布します。			
参 考 書 又 は 参 考 資 料 等			
○「社会人になる前に知っておきたいビジネスパーソンの常識とマナー」 学文社			
そ の 他 (受 講 生 へ の 要 望 等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・私語や居眠りは慎んでください。 ・講義形式とチーム基盤型学習 (team-based learning, TBL) を多くとり入れるため、積極的にチームに参加してください。 			
担 当 教 員 の 連 絡 先 等			
担当教員 E-mail	その他		
sirakawa@fukuoka-int-u.ac.jp	講義終了後の質問等対応可。		

授 業 科 目 名	カラーコーディネート		
担 当 者 名	木村 祐紀子		
科 目 コ ー ド	2100010	授 業 形 態	講義
学 年	1	開 講 期	後期
単 位 数	2	履 修 方 法	必修 美容師必修
授業の概要と方法	私たちの身の回りは、さまざまな色にあふれています。世相がその年の流行に反映されたり、商品やデザインを何色にするかで全く異なった印象を与えたりと、色の性質・特性が心理的効果を与える。色彩の知識を身に付け、仕事に役立つ実践的な色彩の知識を学ぶ。		
授業の到達目標	①色彩に関する基本的な知識について理解する。 ②東京商工会議所 カラーコーディネーター検定 3 級 (アシスタント・カラーコーディネーター) を目指す。 ③3 級レベルの知識に加え、色彩の応用力などを問い幅広い知識を身につける。 ④2 級カラーコーディネーターを目指せるように学ぶ。		
授 業 計 画			
1.	カラーコーディネーションの基礎 1 章 色の性質 2 章 色と心理		
2.	3 章 色を表し、伝える方法		
3.	カラーコーディネーション・チャート作成		
4.	カラーコーディネーションの基礎 4 章 配色と色彩調和		
5.	5 章 光から生まれる色		
6.	6 章 色が見える仕組み		
7.	7 章 色の測定		
8.	8 章 混色と色再現		
9.	9 章 色と文化		
10.	カラーコーディネーター検定試験 3 級対策 ①		
11.	カラーコーディネーター検定試験 3 級対策 ②		
12.	2017 年の流行色・デザインなどをイメージした作品づくり		
13.	2018 年の流行色・デザインなどをイメージした作品づくり		
14.	カラーコーディネーター検定試験 2 級対策 ①		
15.	カラーコーディネーター検定試験 2 級対策 ②		
成績評価の方法 [評価項目と割合]			
授業への取組み姿勢	提出物の提出状況と内容	プレゼンテーション	授業内の小試験点数
50%	30%	10%	10%
授業外で行うべき学習 (準備学習・事後学習等)			
・講義の進度に応じて、次回までに行うべき準備学習及び事後学習について指示します。			
使 用 テ キ ス ト			
書籍名	著者	出版社	
カラーコーディネーター検定試験 3 級		東京商工会議所	
カラーコーディネーター検定試験 3 級 問題集		東京商工会議所	
参考書又は参考資料等			
○「カラーコーディネーター検定試験 2 級編」 ○「AFT 色彩検定公認テキスト 3 級編」 ○「色彩活用パーソナルカラー検定 公式テキスト 3 級」			
そ の 他 (受講生への要望等)			
・卒業、美免必修科目です。必ず単位を取得すること。 ・検定に向け、授業以外の自主学習を行うこと。			
担当教員の連絡先等			
担当教員 E-mail	その他		
kimura@hcc.ac.jp	授業終了後 10 分間、美容研究室 (1 号館 2 階 210 室) に待機しています。		

授 業 科 目 名	ネイルアート		
担 当 者 名	恩田 美智子		
科 目 コ ー ド	2100040	授 業 形 態	演習
学 年	1	開 講 期	前期
単 位 数	1	履 修 方 法	美容師必修
授業の概要と方法	<p>ネイルケアの基本である健康で美しい指先を保つためのネイル(爪の形や皮膚の状態を整え美しく仕上げる知識や技術)やハンドトリートメント・カラーリングまでの技術やさまざまな材料を用いて爪表面を彩りデザインするネイルを習得する。爪の構造や異常、病気などの知識を学ぶ。</p> <p>さらにネイリスト技能検定・ジェルネイル技能検定を取得できる技術と理論も学ぶ。施術内容によっては、相モデルで行う。細かいなネイル技術のため技術工程のデモンストレーションを行い、ネイル技術工程のDVD等も見る。</p>		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ネイルに関する正しい基礎知識や技術を習得し、一人ひとりの個性やファッション、イメージに、そしていろいろなライフスタイルに合ったネイルデザインやネイルアートが提案できることを目標とする。 ・自分の爪に施術ができ、また相モデルで実習を行い、他の人の爪にも施術ができるようになることを目標とする。 ・ネイリスト技能検定及びジェルネイル技能検定取得を目指すことが出来ます。 		
授 業 計 画			
1.	実習教材、授業内容についての説明・ネイル概論 プレマニキュア (I)		
2.	プレマニキュア (II)	テーブルセッティング・ファイル
3.	ケア (I)	キューティクルクリーン
4.	ケア (II)	ファイル・キューティクルクリーン・バッフィング
5.	カラーリング (I)	ポリッシュの取り方・塗り方
6.	ケア (III)・カラーリング (II)	ケア～カラーリング
7.	ハンドトリートメント・ネイルアート (I)	フラットアート (ストーン・ペイント・ポリッシュ)	
8.	ネイルアート (II)	テーマにそったネイルアート作製
9.	リペア・チップ&ラップ	リペア・チップラップ、オフ
10.	ジェルネイル (I)	ジェルカラーリング、ジェルアート (ピーコック・フラワー)、オフ
11.	ジェルネイル (II)	ジェルカラーリング、ジェルグラデーション、ジェルフレンチ
12.	スカルプチュア (I)	スカルプチュア実技、オフ
13.	スカルプチュア (II)	3Dアート (エンボス・立体アート)
14.	ネイルアート (III)	テーマにそったデザイン決め、ネイルアート作製(ネイルチップ)
15.	ネイルアート (IV)	ネイルアート作製(ネイルチップ)
成績評価の方法 [評価項目と割合]			
課題への取り組み方		作品・課題提出	
50%		50%	
授業外で行うべき学習 (準備学習・事後学習等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・ネイル道具は授業内で配布します。 ・学んだ知識はや技術は復習し、次の授業内容についてテキストで確認してください。 			
使用テキスト			
書籍名		著者	出版社
テクニカルシステム BASIC			NPO 法人日本ネイリスト協会
参考書又は参考資料等			
<ul style="list-style-type: none"> ・必要時資料配布します。 			
そ の 他 (受講生への要望等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・テキストをよく読み、ネイル技術について理解しておく。 ・雑誌等で、今流行のネイルについて調べる。 ・自分の爪や相モデルで施術を行う場合は、何もしていない状態にしてください (事前に連絡します)。 			
担当教員の連絡先等			
担当教員 E-mail		その他	
onda@hcc.ac.jp			

授 業 科 目 名	アロマセラピー		
担 当 者 名	安村 百合子		
科 目 コ ー ド	2100041	授 業 形 態	演習
学 年	2	開 講 期	後期
単 位 数	1	履 修 方 法	美容師必修
授業の概要と方法	アロマセラピーとは花や木などに由来する芳香成分（精油）を用いて心身の健康や美容を増進する技術または行為のことである。アロマセラピーが身体に影響を及ぼすのかを深く理解する。		
授業の到達目標	花や草から生まれる香りのエッセンスの知識をもとに自然の香りに親しみ、より豊かなライフスタイルを提案できる人を目指す。		
授 業 計 画			
1.	精油の扱い方を知る		
2.	精油の抽出方法を知る		
3.	トリートメントオイル（キャリアオイル）の種類を学ぶ		
4.	精油のブレンド方法		
5.	精油の脳に与える影響を知る		
6.	フェイストリートメントの体験		
7.	香りの歴史を学ぶ		
8.	精油の安全性と危険性を知る		
9.	精油による具体的な症状のケアについて学ぶ		
10.	オイルトリートメントの体験		
11.	香りによる心理作用を考察する		
12.	香水の知識を深め、精油で作成する		
13.	精油の化学的成分を学ぶ		
14.	精油の禁忌や注意点を示す成分		
15.	アロマセラピーに関する法令		
成績評価の方法 【評価項目と割合】			
授業への取組み姿勢		提出物	
80%		20%	
授業外で行うべき学習（準備学習・事後学習等）			
・講義中に、次の講義までに行うべき準備学習及び事後学習について指示します。			
使 用 テ キ ス ト			
書籍名	著者	出版社	
アロマコーディネーター レッスン用テキスト		日本アロマコーディネーター協会	
精油テキスト		日本アロマコーディネーター協会	
参考書又は参考資料等			
特になし			
そ の 他（受講生への要望等）			
・実習で作成したものは自宅で使用すること。 ・自分自身の心身の健康のためのアロマセラピーを、日常生活の中で意識してください。			
担当教員の連絡先等			
担当教員 E-mail		その他	
lilychantelove@docomo.ne.jp		講義終了後の質問等対応可。	

授 業 科 目 名	ヘアメイクアップ		
担 当 者 名	赤崎 知美		
科 目 コ ー ド	2100042	授 業 形 態	演習
学 年	2	開 講 期	後期
単 位 数	1	履 修 方 法	選択
授業の概要と方法	<p>基礎的なメイクアップ技術及びヘアアレンジ法を学び、これから社会人として TPO に合わせたヘアアレンジとメイクアップを習得する。</p> <p>自分の骨格を見極めて顔や頭の特徴をとらえ、活かす、調整する技術を学ぶ。</p> <p>美容道具の取扱の基本を習得し、シーンや目的に応じてヘアスタイルやメイクアップも変化させていけるように、技術テクニックを実践で行う。</p>		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ヘア、メイクの基礎づくりができる。 基礎を知ることにより、ナチュラルヘアメイク～パーティー用、ステージ用など応用することができるようになる。 		
授 業 計 画			
1.	メイクアップについて		
2.	ベースメイク 顔のバランス		
3.	ベースメイク ファンデーション		
4.	ポイントメイク 眉・アイメイク		
5.	ポイントメイク チーク・リップ		
6.	クレンジング、マッサージ		
7.	補正テクニック		
8.	メイク復習		
9.	ヘアアイロンの使い方		
10.	ホットカーラーの使い方		
11.	巻き髪、ダウンスタイルにチャレンジ		
12.	パート分け、毛束を留める、逆毛を立てる 他		
13.	三つ編みアレンジ、シニヨンアップ		
14.	ヘア復習		
15.	まとめ		
成績評価の方法 [評価項目と割合]			
課題への取組み姿勢		作品・課題提出	
70%		30%	
授業外で行うべき学習 (準備学習・事後学習等)			
・学習したことを日常で活用して下さい。			
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
・必要時に資料配布。			
参考書又は参考資料等			
・美容関係の書籍やファッション誌 等			
そ の 他 (受講生への要望等)			
・筆記用具、日頃使用しているヘア、メイク道具を持ってきて下さい。			
担当教員の連絡先等			
担当教員 E-mail		その他	
akasaki@hcc.ac.jp			

授 業 科 目 名	ブライダルプランナー演習 I		
担 当 者 名	井上 登美子		
科 目 コ ー ド	2100036	授 業 形 態	演習
学 年	1	開 講 期	前期
単 位 数	2	履 修 方 法	選択
授業の概要と方法	ブライダル業界への進出を最終目標とし、その第一歩として、1年前期「ブライダルプランナー演習 I」では、全米ブライダルコンサルタント協会（ABC）認定、「ブライダルプランナー検定 3 級」全員受験、全員合格を目指し、公式テキストに沿って授業を展開します。また、1年後期「ブライダルプランナー演習 II」「ブライダルプランナー検定 2 級」を、選択受講及び受験するモチベーションが維持できるよう、多方面からのアプローチを試みます。前期終了時に、学外施設での研修を実施します。		
授業の到達目標	1. ブライダル分野に関する基礎的知識が習得できている。 2. テーマごとのまとめのテストにおいて、80%以上の解答率が確保できる。 3. ブライダルプランナー検定 3 級 全員受験 全員合格。 4. グループワークによるウェルカムボードの制作・プレゼンテーション能力の向上。		
授 業 計 画			
1.	オリエンテーション	授業計画 ブライダルプランナー及び検定について	
2.	第 1 章 日本のブライダル市場	①業界の変遷、市場の理解	
3.	〃	②市場の現状、ブライダルビジネス	
4.	第 2 章 ウェディングの決定	①結納、媒酌人、仲人	
5.	〃	②会場の選定、挙式の形態	
6.	(ミニテスト 及び 解説 課題別プレゼンテーション)	〃	②会場の選定、挙式の形態
7.	第 3 章 婚礼施設の主要業務		
8.	第 4 章 関連商品・サービス/衣裳 ①営業形態、ビジネス	①営業形態、ビジネス	
9.	〃	②和装、洋装 【ウェルカムボード制作 ①】	
10.	(ミニテスト 及び 解説 課題別プレゼンテーション)	【ウェルカムボード制作 ②】	
11.	第 5 章 関連商品・サービス/主要各業者 ①フラワー、着付け	【ウェルカムボード制作 ③】	
12.	〃	【ウェルカムボード制作 ④】	
13.	(ミニテスト 及び 解説 課題別プレゼンテーション)	【ウェルカムボード制作 ⑤】	
14.	模擬試験 及び 検定対策講義 第 6 章 部分		
15.	学 外 研 修 (レストラン、カフェにおけるウェディングについて)		
成績評価の方法 [評価項目と割合]			
章終了ごとのミニテストの結果		課題作品への取り組み方	プレゼンテーション
40%		40%	20%
授業外で行うべき学習 (準備学習・事後学習等)			
<ul style="list-style-type: none"> 各章の予習、復習 使用素材含め、課題作品のイメージにそった資料の検索 スケジュール (制作・プレゼン) の自己設定、実施計画 			
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
The Business of Japanese Weddings		全米ブライダルコンサルタント協会 日本オフィス	
The Business of American Weddings		全米ブライダルコンサルタント協会 日本オフィス	
参考書又は参考資料等			
○25ans ウェディング (ハースト婦人画報)			
○ゼクシィ (リクルートホールディングス)			
そ の 他 (受講生への要望等)			
※テキストについて ブライダルプランナー検定 1・2・3 級対応 2 冊セット→本学がブライダル認定校のため、一般販売の約半額 (実験実習費で徴収、講義時に配布)			
<ul style="list-style-type: none"> 学外研修として、レストラン or カフェでのウェディング (テーブル) セッティング及びマナー (フルコースランチ) を計画 ABC 協会認定 ブライダルプランナー検定 3 級: 前期終了時に実施 (前期定期試験中の予定) 			
担当教員の連絡先等			
担当教員 E-mail		その他	
inoue@hcc.ac.jp			

授 業 科 目 名	ブライダルプランナー演習 II		
担 当 者 名	井上 登美子		
科 目 コ ー ド	2100037	授 業 形 態	演習
学 年	1	開 講 期	後期
単 位 数	2	履 修 方 法	選択
授業の概要と方法	1 年前期「ブライダルプランナー演習 I」で習得した基礎的知識を踏まえ、1 年後期「ブライダルプランナー演習 II」では、更にグローバルな視点での総合的知識を身に付け、ブライダル業界で活躍できる人材の育成を目標とします。全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC) 認定、「ブライダルプランナー検定 2 級」「ドレススタイリスト検定」合格に向け、公式テキストに沿って授業を展開し、また、最終的には学外研修として、ブライダル関係の施設見学を計画しています。		
授業の到達目標	1. ブライダル分野において、日本だけでなく、グローバルな視点 (特にアメリカン・ウェディング) での総合的知識が修得できている。 2. テーマごとのまとめのテストにおいて、80%以上の解答率が確保できる。 3. 「ブライダルプランナー検定 2 級」、「ドレススタイリスト検定」受験及び合格。 4. プレゼンテーション能力の向上が認められる。		
授 業 計 画			
1.	オリエンテーション、検定について、	第 1 章 アメリカン・ウェディングとは	
2.	第 2 章 アメリカン・ウェディング〈準備編 1〉	①ブライズメイズ、アッシャー	
3.	〃	②ギフト、アイテム	
4.	第 3 章 アメリカン・ウェディング〈準備編 2〉	①リハーサルディナー	
5.	〃	②デスティネーションウェディング	
6.	(ミニテスト 及び 解説 課題別プレゼンテーション)		
7.	第 4 章 アメリカン・ウェディング〈本 番 1〉	①聖職者、司式者	
8.	〃	②宗教 (キリスト、ユダヤ)	
9.	第 5 章 アメリカン・ウェディング〈本 番 2〉		
10.	(ミニテスト 及び 解説 課題別プレゼンテーション)		
11.	第 6 章 ブライダルコンサルタントの環境	①ヴェンダー	
12.	〃	②情報収集	
13.	(ミニテスト 及び 解説 課題別プレゼンテーション)		
14.	検定対策講義		
15.	学外研修 (施設見学…ホテル or 専門会場におけるウェディング)		
成績評価の方法	〔評価項目と割合〕		
章終了ごとのミニテストの結果	課題レポートの提出	プレゼンテーション	
40%	40%	20%	
授業外で行うべき学習 (準備学習・事後学習等)	・各章の予習・復習 (不正解の個所を必ず復習する)		
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
The Business of Japanese Weddings		全米ブライダルコンサルタント協会 日本オフィス	
The Business of American Weddings		全米ブライダルコンサルタント協会 日本オフィス	
参考書又は参考資料等	○25ans ウェディング (ハースト婦人画報) / ○ゼクシィ (リクルートホールディングス)		
そ の 他 (受講生への要望等)	<p>※テキストについて ブライダルプランナー検定 1・2・3 級対応 2 冊セット→本学がブライダル認定校のため、一般販売の約半額 (実験実習費で徴収、講義時に配布)</p> <p>・DVD 視聴による課題レポートあり ・テキストの次回の単元に必ず目を通す。ミニテストへ向け勉強する ・ABC 協会認定、ブライダルプランナー検定 2 級受験。 (2018 年 1 月、受講者全員実施 → 不合格者は 9 月に再度チャンスあり) (〃 2 月 ドレススタイリスト検定 実施)</p>		
担当教員の連絡先等			
担当教員 E-mail	その他		
inoue@hcc.ac.jp			